

退職者連合が第189回通常国会における 政策・要求実現に向けた2・18院内集会に参加！

2月18日午前10時から東京・永田町の参議院議員会館1階講堂で「政策・要求実現に向けた2・18院内集会」が開催されました。集会には、前日に開かれた全国事務長会議に参加した地方退職者連合の代表も加えて約280名が結集し、JR総連OB連絡会から10名（貨物2名）が参加しました。

主催者を代表して阿部会長は①公的年金制度については年金積立運用の問題点。②医療保険制度については高齢者医療制度改革会議報告に基づき、後期高齢者医療制度にかわる新たな制度を作ること。③介護保険制度について④生活保護制度について⑤年金課税について、年金の生活維持機能を損なわないことを前提にして、応能負担の原則に伴う体系的提案により国民の合意形成を図る。法人税の実効税率を引き下げにも反対してまいりますと挨拶しました。

連帯あいさつでは（1）連合・川島総合政策局長（2）民主党・厚労部門会議座長山井衆議院議員（3）社民党・吉田党首の各代表者から政府への怒りの表明が相次ぎました。

講演では連合の平川生活福祉局長が年金、医療・介護等に関する国会等の動きについてと2015年度予算案などの7つの課題について講演されました。

菅井退職者連合事務局長（政策担当）は今後の取り組みについて、年金、医療・介護等について第189回通常国会に向けて政策・制度要求実現に向けて総力を挙げて闘いぬくとしました。集会終了後、田城議員事務所に行き、田城議員と懇談しました。大きな課題が明らかになり、気が敷き締めりましたが有意義な1日となりました。

